

令和5年度 地域版防災マップ作成 (まちあるき・図化作業など)

虫尾区・桜が丘区・ 成谷区

令和5年12月3日(日) 9時～14時ごろ

三田市 危機管理課

1

① 地域版防災マップとは？



2

① 地域版防災マップとは？

- ・地域の災害リスク(浸水、土砂災害など)とは？
- ・地域の安全な場所(高台など)は？
- ・災害が起こりそうなとき、どのように身を守るか？

地域にお住まいの皆様で
いっしょに考えます



3



① 地域版防災マップとは？



日常から想定・把握する

まち歩きを
行います！

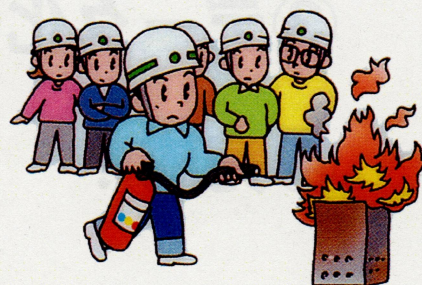


災害時の危険を回避

4

② マップの目的、ねらい

- (1) 地域の**災害リスク**（危ない場所、危険箇所など）や、**安全な場所**（避難する道、避難場所など）などの確認を行う。
- (2) 地域での**災害時の行動**を確認する。



5

② マップの目的、ねらい

- (3) 防災訓練での行動の実践
- (4) 地域内での情報共有
- (5) 住民同士の交流の場



6

③ 防災マップ作成のながれ

①事前説明会（危機管理課で実施済）

②まち歩き、図化作業

⇒本日開催！

③データ化作業（危機管理課で実施）

④完成！

④ ワーキング(まち歩き・図化作業)

- ・参加者で、まち(現地)を歩きます。
- ・参加者から、過去に災害が起こった場所など、情報の発見・確認する。

(例)

- ・がけ崩れを起こしそうな傾斜地
- ・木造住宅の密集地
- ・過去に災害が発生した場所
- ・避難に適した場所
- ・防災器具庫、井戸



④ ワーキング(まち歩き・図化作業)

● 災害時に危険な場所の特定

風水害時・地震時別に(まち歩きのチェックポイント参照)

→地区のみなさまが一番良く知っているので、積極的に意見を出してください。(過去の災害、大雨時の様子、建物の建築年代など)

● 災害時に安全な場所の特定

→土砂災害・浸水害、地震火災の影響の無く、一時避難できる場所を見つける。

9

地域の災害リスクの整理、絞込み ～地震時に避難が必要な場所～

- ① 昭和56年以前の建物の中に住んでいる。
- ② 周りに木造住宅が密集している。
- ③ 土砂災害警戒区域の中に住んでいる。



当てはまれば
避難の必要あり！

防災マップ作成 まち歩き



13

④ ワーキング(まち歩き・図化作業)

●各區で、1つまたは2つのグループでまち歩きを行います。

→ 1人から2人記録係(カメラ撮影)

→ 事前に決めたルートを案内する先導係

●災害が起きたら・・・の視点で考えて下さい。

→ 積極的に意見を出しましょう

④ ワーキング(まち歩き・図化作業)

●出席者

- ・地域の皆様(区役員、民生委員、消防団員、児童PTA、地域づくり役員など)
- ・さんだ防災リーダーの会
- ・三田市地域担当
- ・三田市社会福祉協議会
- ・三田市危機管理課

⇒どうぞよろしくお願いいたします！